

やすらぎ通信

「三明寺経塚」ものがたり

門池の公園内に三明寺経塚があります。公園の中心部分に有り、三百三十平米（約百坪）ほどで現在は木が繁り小高い丘陵地の真ん中に石碑が残されています。三明寺経塚は沼津にあった五つの経塚の一つでその規模が大きいことで有名です。

享保十九年（一七三四）二月八日、今という台風のために倒れた老いた松の下から偶然発見されました。掘り出された経筒は三

明寺に、外筒容器は村人に渡りましたが、散失するのを憂えた地元の飯田基良老人が同年七月十一日に再び埋めて納めたとい



三明寺経塚

秋季彼岸号

経緯は、塚の上に残る石碑や白隠筆の由来書が白隠語録「荊叢毒菓（けいそうどくずい）」に述べられています。おそらく、昔のことですから白隠禪師が今の松陰寺から龍澤寺に通う道すがらの大きなさわぎの出来事であったと思われる

二百年を経て、昭和十五年（一九四〇）年、静岡県史編纂に伴う発掘調査が行われました。記録によると、内部の中央に銅板製経筒の納められた外筒容器六口があり、それを囲むように四十近い外筒容器が並べられていたそうです。

発掘された経筒六口の内、四口には、筆字（かごじ）の印刻銘があり、その全てに「建久七年」（一一九六）の年号があります。現在は国立博物館に保管されています。

それらのことにより、平安時代の後半から末法思想の影響を受けて盛んになった如法経信仰に基づき、鎌倉時代初頭に百部の写経を行い、これらを埋め奉納するために造営されたことは明らかです。

末法思想とはお釈迦様が亡くなられて五百年は正法の時代、次の五百年は像法の時代、それ以後は末法の時代と言います。その時代、教えを学ぶ人も少なくなり、戦いや飢えや貧困や病や死の日常で絶望感に襲われた時代を末法の時代といい、末法思想がもてはやされ、お写経をして奉納し、世の平和と



三明寺経筒
建久5年（1194）
東京国立博物館所蔵



三明寺経筒外筒
飯田貞雄氏所蔵・沼津市歴史民俗資料館保管

安全を祈願し、筒にいれ埋納したと考えられます。

三明寺ではそれを鑑み、お写経会を初めて四年になります。今日もなかなか心の平和は訪れず悩み多き時代に変わりはありません。是非このような大因縁のある経塚を今に生かすため、皆さんと共に写経をはじめましょう。お写経は般若心経読経の後、墨をすり、般若心経を写します。時間にすれば約一時間ほどです。毎週土曜日朝六時と毎月第四月曜日朝十時からです。初心者大歓迎です。

月曜日には書道の山本英美子先生がこられます。会費は一回千円です。是非ともご参加をお待ちしています。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌

【檀信徒行事予定】

九月

○道了講

1日

○戸田家法事

6日

○小國家法事

12日

○山崎家法事

13日

○橋本家法事

14日

○特派布教

15日

○地蔵講

17日

○やすらぎ大学

19日

○梅原家法事

20日

○藤井家法事

3日

○萩原家法事

4日

○佐藤家法事

6日

○荻窪家法事

6日

○道了講

8日

○本山研修会

11日

○日吉家法事

17日

○横山家法事

19日

○安達家法事

20日

○地蔵講

25日

○園田家法事

3日

○田中家法事

17日

○久我家法事

17日

○道了講

22日

○地蔵講

17日

○やすらぎ大学

3日

○じぞう寄席

22日



【住職・寺族行持】

九月

○東部教連梅花（三明寺）

2日

○富士高16回同窓会

5日

○宗務所々々

8日

○さんぽジウム

13日

○保護司会

17日

○ライオンズ帰国報告会

17日

○大泉寺施食会

23日

○裾野倫理法人会講話

25日

○現職教育

30日

○秀源寺大般若会

3日

○西有寺本葬大夜

5日

○楞嚴院大般若会

24日

○梅花特派（三明寺）

26日

十一月

○清源院晋山結制

1日

○興隆寺大般若会

5日

○特派布教（三明寺）

10日

【三明寺文化倶楽部行事予定】

○土曜日 写経

6時

○日曜日 坐禅と法話

6時

○月例坐禅会

19時

○月例写経会

9時

○御詠歌（寺族）

10時

○やすらぎ大学

13時

【住職ラジオ法話】

○SBSラジオ

第四土曜日

○コーストFM

毎週月曜朝

○ボイスキュー

第一月曜日

【お知らせ】

□人形供養が多い

今やネットの関係もあり、問い合わせの多さに驚いています。昔のように簡単に焼却できなくなった環境のためだと思います。

□ペットの時代です

ペットの火葬、納骨が増えています。ペットに癒しやすらぎを求める人が多いことが特に感じられます。お彼岸に合同供養祭を行います。ご参加下さい。

□終活の相談をしましょう

少子高齢化の時代に入り、墓地をもとめられない問題が現実化しています。永代供養が増えています。気軽に相談ください。

□写経会に参加してみませんか

写経会は月一回開催 最終の月曜日予定です

【後記】

心配された天候ですが、向かってきた台風が右に旋回しはじめ、晴れました。お不動さん、お地蔵さんの力かな？地蔵盆大祭には照明灯が切れるハプニングもありましたが千人鍋、御輿、模擬店、北小林のおはやし、八木春子歌謡ショー、万灯供養会、福引抽選会など諸行事を無事行うことができました。早くから準備された役員さんのおかげです。ありがとうございます。今後とも楽しい祭りを目指していきたいと思えます。（住）

平成二十七年九月一日 第五十六号
発行所 曹洞宗三明寺 泰寺
編集所 大嶽正
住所 沼津市大岡字三明寺四〇五一
電話 055・929・2323
FAX 055・929・2324
URL http://www.sanmyouji.com
メール info@sanmyouji.com



御輿渡御の安全を祈念して乾杯！



三明御輿会の萬燈御輿



新盆供養会 (7/5)



第108回じぞう寄席 入船亭扇辰師匠(8/30)



三男 イギリスにて



ちょっとはじけました



奉詠する三明寺梅花講の講員さん



読経する近隣のご僧侶

地藏盆大祭



不動尊の前にて



施餓鬼棚を前にご焼香

8月23日(日)



模擬店でのお客さんのにぎわい



今年も「千人なべ」パエリアは大好評！
一人で9杯も食べた人がいるとか？



小林囃子の子供達の声が祭りに弾みをつけています



20年来の八木春子さん
来年も引き続きお願いします！